

平成31年1月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成31年1月29日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時40分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	三宅泰司
次長(教育総務部長兼務)	吉實達男	学校教育部長	岡林敏隆
生涯学習部長	重松浩二郎	参事 (教育企画総務課長事務取扱)	村田守
参事 (生涯学習課長事務取扱)	石井敏郎	教育企画総務課企画調整担当課長	高坂仁美
就学課長	東谷徹	指導課長	松岡和俊
地域子育て支援課課長補佐	黒瀬格	こども園推進課長	田中哲也
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	生田裕宣	事務局 (教育企画総務課副主査)	島田雅紀
5 議題及び結果			
第1号議案	平成31年度の全国学力・学習状況調査への対応について		原案可決
6 教育長等の報告 [平成30年12月15日(土)～平成31年1月18日(金)]			
12/19	岡山県教育委員会教育長・教育委員との意見交換会	教育企画総務課	
1/11	教育長学校訪問	教育企画総務課	
1/11	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、幼保運営課	
1/13	新成人の集い	地域子育て支援課	
1/14	新春子ども会かるたとり大会	地域子育て支援課	
1/14	これからの公民館のあり方を考える市民フォーラム	生涯学習課	
1/16	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、幼保運営課	

1/16	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/16	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/17	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、幼保運営課
1/17	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/17	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
1/18	教育長学校訪問	教育企画総務課
教育長 石井委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日程第3に入る。事業報告を、ごらんになり、何か質問はないか。 ○ 1月13日の新成人の集いであるが、ことしの成人式の状況等をお伺いできればと思う。 	
地域子育て支援課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新成人の集いは、1月13日に滞りなく行われた。参加者は5,300人で、今年度8名の新成人の実行委員が6月から実行委員会を二十数回重ねて、企画展や式典の運営をやっている。 企画展では、中学校3年生の先生方からのビデオメッセージや手紙をいただいたものを掲示したり、自分が成人できたということに感謝の意を手紙等で表そうという企画で手紙を書いたり、薬物防止ということで岡山県警にご協力をいただいてそのようなブースを設けたり、またキリンビールさんに協賛でお酒とのつき合い方というようなブースを設けたりした。また、例年どおりであるが、20歳になるまでのいろいろな出来事をパネル等にして展示をして懐かしんだり、小学校の教室を再現して振り返ってみたりというような、そういう企画が催された。手紙を書いたり、また恩師からのメッセージを熱心に読んだり、よいふり返りの機会とする新成人の姿が多く見受けられた。 式典では、新成人用の座席を1,800席用意して、1,500席程度は埋まった状態であったと思う。どうしても前のほうの席が空いており、なかなか前のほうが着席できなかつたような状況である。市長の提案もあり、新成人の中で歌手デビューを目指しているという岡山市出身の新成人の子が歌を披露するもので、今までの感謝の気持ちを歌で伝えたいということで、歌のメッセージがあった。中に入っていた新成人が聞き入る姿があった。市長、議長の挨拶をいただいている際に、着席してない新成人が後ろのほうに200人程度おり、騒がしいということで今後改善をすると言われており、改善案を考えているところである。また、会場の外には、式典に入っていない新成人も1,000人程度はいたと思われる。駐車場が少ないということで混雑したこともあり、1件事故があつて警察対応をしている。酒瓶を持って入ったり、旗を持って入ったりというような新成人もちらほら見受けられたが、式場の中には入れないということが定着しており、大きな騒動になるようなことはなく、外にいたというような状況である。 	
石井委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追加で質問であるが、ここに参加者数5,300と記載があり、そのうち1,500人が中に入って、1,000人が外にいて、残りの人はどこにいるかという、どこにいたのか。 	
地域子育て支援課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ○ 座席を1,800用意していて、おおむね1,500埋まっていた。概算であるが、中に入っていたが、着席してなかつた新成人が200人から300人式典の間、座席の後ろで待ち合わせをしていたかと思われる。式典の後、多くの新成人は中へ入って企画のブース等を見学していたということである。 	
教育長 地域子育て支援課課長補佐 石井委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5,300人というのは、全成人ということか。もう少し多いのでは。 ○ 対象者の新成人は7,700余りである。 ○ もう一つ。8名の実行委員の方を中心に二十数回、かなり念入りに大変な準備をされたと思うのであるが、今後について準備や企画というところで検討されていることとか課題や進め方など、何かあれば教えていただければと思う。 	
地域子育て支援課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実行委員のほうでのまとめはまだできていないが、実行委員は初めてのことで、式が滞りなく行えたということや企画もおおむね盛況であったということに関して満足をしている。毎年担当している係としても、ことしの実行委 	

<p>藤原委員</p>	<p>員もよく頑張ったと思う。また、課題については、これから精査していかないといけないと思っている。</p> <p>○ 成人式に参加させてもらったが、落ちついた成人式だったと思う。外はオープンカーのような改造車が何台かいたが、会場の岡山ドームの周辺や会場内は落ちついてたと思う。</p> <p>2点ほど感想であるが、1つ目は、とって心温まったなあと思うこと、身体障害者のためのエリアが大きくあけられており、ストレッチャーに乗った男性の成人者がそこにゆっくりとおれたというのは、これはいいことだと思った。恐らく成人式へ行く決心をする障害がある人というのは、なかなかないかもしれないので、あらかじめ、そういったブースがあるとか、優先的に車を置けるとか、安全であるとかというふうなことを少しどこかにうたっておいてあげるといいと思った。恐らく20歳だったらまだ気持ちが余り大人になってないから、少し遠慮しておこうとか、身体に障害がなくても、中学校時代、小学時代にいじめに遭っていたとかで成人式に行きたくないという人もいるかもしれないので、実行委員会のほうが、少しその弱い立場の人にも配慮しているというアピールがあると行きやすくなるのかなと思う。外に出てから、本当にすごく感謝されていた。寝たきりで、自分では言葉を発せないような成人の人だったけれども、恐らくすごい記念になるだろうし、元気が出るのではないかなと思った。</p> <p>もう一つは、毎回座る人が少ない、話を聞かないとかという問題が出てくるが、この実行委員会のあり方として、恐らく中学校の先生が声をかけたり、自分から進んでしたりすると思うのだが、何十回も集まりがあるとすると、仕事でもしている立場だったら行けないかなという子もいると思う。その辺の工夫があること。ステージで代表の子が挨拶をするだけではなくて、実行委員の人が一言ずつはスピーチをするとか、会場からあらかじめもらっていたものを代読するとか、何か当事者意識がもうすこしあるようなことにすると、椅子に腰かける人も増えるのかなと思う。先ほど言われた歌手の人のときには、みんなすごい前に来て応援していたのは、やはり興味・関心があることには動くのではないかなと思った。実行委員の人は、本当に真面目そうな人ばかりだったので、余り余計なことを言ったりしたりするのは気の毒なような気がしたが、そういう視点も要るかなとちょっと思った。</p>
<p>妹尾委員</p> <p>地域子育て支援課課長補佐</p>	<p>○ ちょっと勉強不足であるが、成年の年齢との関係では、今後どのようにあり方やその他今どんな議論がされているのか、もしわかれば教えて欲しい。</p> <p>○ 18歳成人ということで、成人年齢が引き下げられ、それに伴って成人式は一体何歳にするのかというような議論がされている。岡山市においても、18歳成人になるということで、今後成人式のあり方を考えていく一つの機会になるので、現在の中学校2年生の子が高校3年生になる年に初めて18歳で成人ということになるので、本年度校長会にもご協力をいただいて、中学校の2年生、3年生に対して成人式は現行どおり20歳とするのがよいか、または18歳で法律に則りするのよいかということでアンケートをとっている。8割方は現行の20歳の成人式を続けて、高校卒業した後にまた懐かしい友達と会いたいというような意見が多かった。あと業界のほうからも要望が届いており、2月7日には二十歳の祝典国民推進会議という着物業界の集まりでつくっている団体から岡山市のほうへ要望書が届くことになっている。今後方針については、来年度中にいつの時期に成人式をどうするのかということについて発表できるようにしたいと担当課では考えている。</p>
<p>石井委員</p> <p>教育長</p>	<p>○ 1月のお忙しい中、教育長が学校訪問をされていらっしゃるの、様子をお伺いできればと思う。</p> <p>○ 1月11日に東疇小学校、18日に牧石小学校へ行ってきた。実は、この前であるが、豊小学校というところへ行ったのであるが、東疇小学校は、妹尾駅のすぐそばにある学校であるが、特徴的なこととして、東疇小学校は興除中学</p>

校区になるが、興除中学校区には興除小学校とそれから曾根小学校と3つ小学校がある。中学校とももちろんしっかり連携をしているが、中学校区内の小小連携ということで、3つの小学校が授業を見合うとか、中学校へ行ってこういうことを困らないようにしようということで、小小連携を非常に熱心に取り組んでいるということも熱弁されていた。年2回から3回の授業公開をすとか、いろんな取り組みをされていて、興除小学校と曾根小学校はやや小さい学校で、東疇小学校は中規模の学校なのであるが、それぞれ知恵を出し合って授業検討をしているようなことがあった。

それから、最近すごく増えてきたが、自主学習ノートというのをつくって、それを徹底している、校内に学力向上委員会というのを設置して、そこが中心となって自主学習をしっかりやるように促していると、そういったことが特徴である。

それから、働き方改革については、上からトップダウンでこうしようではなくて、教職員から提案してもらおうというボトムアップの方法をとる。この自主学習のほうも、先生たちから提案してもらおうようにしている。ただ、そうはいいながら仕掛けはしているわけで、ちょうどキーマンとなる先生がいて、その先生がよく皆さんに働きかけをしてくれるということはおっしゃっていた。

それから、1月18日の牧石小学校であるが、実はこの牧石小学校は、去年の11月30日に家庭科教育の全国大会があった。平井小学校と牧石小学校が会場になった。その全国大会に向けて、いわゆる全国学力・学習状況調査のことではなくて、この家庭科の大会を成功させると3年間、4年間走ってきた。家庭科は5、6年生であるが、全校で取り組もうということで取り組んできたということが大きいと。その家庭科にも通じることなのであるが、総合でも、人とかかわることを大切にして研究をしていくということ、人とかかわるということもキーワードに研究を進めてきたということも言われていた。私も開会式やレセプションに行ったが、全国から集まってきた方、先生方の評価は高くよかったと思う。

牧石小学校は、通学距離がとても長い、岡山市内でも一、二を争うぐらい長い子が多い。牟佐の子は歩いて1時間ぐらいかけて来ていると思うし、今はないが金山の頂上とかお寺など、それからいわゆる昔の牧山分校があったところも牧石小学校の学区なので、非常に通学距離が長い。そこで、早く帰らさないといけないので、放課後残して学習をするということがなかなか徹底しない。家庭の協力も得られにくいということもあって、なかなか補充学習がし難いということも言われていたので、そういう意味では、しっかり授業で勝負ということも考えていないといけないのだけでも、十分なことができていないという反省もされておられた。非常に落ちついた雰囲気、いい実践をされているなあということも思った。

東疇小学校の校長先生も、実はこの家庭科の大会にかかわっていて、忙しい中であつたがしっかり地に足がついた研究をされているなあということも思った。

藤原委員

○ 公民館のフォーラムについて、どういうご意見が出ていたのか、登壇した方々がどういう方だったのかというのを教えてほしい。

生涯学習部長

○ 1月14日に92人の市民の方がお集まりいただき、まず熊谷先生に基調講演をいただいた後、6人ずつのグループでワークショップをした。各グループ内でいろいろ意見を出していただいて、それを模造紙に張り出して、みんなで意見交換した。グループでの報告がその後あったが、そのときに、公民館を開かれた市民が集える場所にして欲しいであるとか、地域課題なんか含めて欲しい、そういったご意見等が出てきており、今後、今策定中の公民館の基本方針に参考にしていければというふうに考えている。

藤原委員

○ そのあり方については、市民に意見を聞くパブリックコメントとか、そういう手法もあるのか。

生涯学習部長	○ はい。パブリックコメントも12月からとっており、2月5日までやっている。今回の市民フォーラム、それと2月3日になるが、公民館大会でもそういったご意見、パブリックコメントをいただければいただくようにして、パブリックコメントは2月5日を締め切りをしているので、ご意見いただき参考にしながらやっていきたいと思っている。
藤原委員	○ 地域に根差している施設ということで、いろいろな要求度も高いだろうし、期待も高いと思うが、難しさを感じるころはどんなところがあるか。
生涯学習部長	○ 市民のためにやっていくためには、やはりそこでスタッフとして働いている職員の人。いろいろな方々の支えでやっているの、そういった住民との協働活動をうまくやっていき、市民、全市的にそういったいろんな市民の力を発揮できるような形にやっていかなければならないので、そういった支援とか、協働の力というか、そのことを発揮できるような形にしていかなければならないということが課題であると考えている。
藤原委員	○ 大きく全市にかかわることなどいろいろあると思う。
教育長	○ そのほかないか。よろしいか。
全委員	○ 〈なし〉
教育長	○ 以上で、事業報告を終わる。

7 議事の概要

教育長	○ ただ今から1月岡山市教育委員会定例会を開催する。 本日の傍聴希望者はいない。
	○ 日程第3, 事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
	○ 次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りする。 日程第4、報告第1号及び日程第5の第2号議案は、任免、賞罰等職員の身分取り扱いその他人事に関する事項として会議規則第7条第1項第1号に該当するため、また、日程第5の第3号議案は、教育事務に関する議会の議案等についての市長への意見の申し出に関する事項として会議規則第7条第1項第3号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様いかがか。
全委員	○ 〈承認〉
教育長	○ はい。それでは、日程第4の報告第1号並びに日程第5の第2号議案及び第3号議案は非公開と決定する。 それでは、日程第5のまずは公開のほうである、第1号議案、指導課から説明をお願いします。
指導課長	○ 平成31年度、来年度の全国学力・学習状況調査への対応についてである。 この調査に参加することについて、本会でご協議いただいて議決を得ようとするものである。よろしく願います。 1枚めくっていただいて、調査への対応についてというペーパーをごらんいただきたい。 1番、調査の概要である。実施日は、平成31年4月18日木曜日である。調査事項は、児童・生徒に対する調査と学校に対する調査の2つである。児童・生徒に対する調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象に実施され、教科は国語、算数・数学に加え、今年度は中学に英語が加わっている。あわせて、学習意欲等に関する質問紙調査が60問程度実施される。学校に対する質問紙調査は、学校の取り組み等の調査が80問程度実施される。 2番、昨年度からの変更点としては、大きく2点である。1点目は、国語、算数・数学の問題がA、Bが一つにまとめられて知識・活用を一体的に問う統一調査問題に変更される。調査の時間は、結果として昨年度より短くなるということになる。2点目としては、中学校の英語の調査が初めて実施されるとい

うことになる。ただし、これは3年に1回の実施ということになっている。聞くこと、読むこと、書くことに加えて、話すことの調査が5分間程度短い時間であるが実施される。パソコンルームで、ヘッドセットをつけて一人一人自分の声を録音する、答えを話して録音するという調査になる。

3番、参加のねらいについては、これはこれまでと同様であるが、3点ある。調査結果を十分に活用しながら、1つ目は岡山市の教育施策に生かす、2点目が学校の改善に生かす、3点目が子供たち一人一人の学習の改善に生かすという3点をねらいに実施していきたいというふうに考えている。

最後、参考として、結果の示し方をまとめているが、学校別に、ポツ3つあるが、この3つのものを作成し、それぞれ児童・生徒や保護者に配布することとしている。2つ目の丸であるが、まず個人票、これは国が作成するものであるが、児童・生徒と保護者に返却して学習改善に生かしていこうと思う。岡山市全体の状況、改善プランはホームページに掲載するが、これらの資料を含めて学校別の平均生徒数等のもの、学校ごとの序列化につながるようなものは一切公表することはない。

私からの説明は以上である。ご審議のほうよろしく願います。

教育長

○ ご質問、ご意見はないか。

来年度から、国語A、B、数学・算数が算数A、Bとなっていたのが、全部統一される。新しく英語が中学校だけであるが入るところが大きな変更点である。教育大綱にも少し影響があると思うが。

質問紙調査は例年と変わらない感じ、いわゆる経年変化を捉えることは可能なのか。

指導課長

○ 若干変化をしていて、今60問とお話したが、今年度、児童・生徒質問紙が、かなりカットされている。例えば、スマホやテレビゲーム等についての質問がカットされていて、これまで子供たちの負担が大きいということで改善が求められていたが、それに伴って80問から60問へかなり減っている。ただ、これは、3年に1回ぐらいでまた詳しい調査をする予定。必要最小限のことだけ毎回して、来年、再来年、再来年度かその次の年度ぐらいにはまた詳しい調査が行われる予定である。それに伴って、着目している指標等も変化させないといけないような局面も出てくるのかなと思っている。

教育長

○ 本当はスマホの質問は続けてやってほしいところではあるのだが。

藤原委員

○ どうしてカットされたのか。

教育長

○ 時間を短くということなのであるが、何か別の項目をカットするのはいいが、スマホはカットしてほしくないのだが。

妹尾委員

○ 岡山市のアセスの中では、それを聞く問いというのはあるのか。

指導課長

○ はい。小4、小5、中1、中2ではあるが、スマホのものは調べている。アセスは、15問程度のコンパクトなものなのであるが、その中にはスマホ、テレビゲームの項目は入れて調査はする予定にしている。

教育長

○ それは続けていくのか。

指導課長

○ はい。

藤原委員

○ 多分その仮説と結果が一致するようになったから削除している可能性もある。その中で、岡山市が独自にするのであれば、LINEの乱用が、子どもにもあるけど保護者にも多く、それで何か随分影響を受けている。よくあるママ友レベルなので、全員ではないのであるが、担任の先生の評価をLINEでし合う。だから、子どもさんの活用能力よりも、親御さんの活用能力が随分低下していて、影響を受けるという話をいろいろなところで聞くことがある。だから、スマホ使うか、買い与えるかというのもあるが、利用の仕方まで聞かないといけないような時代になっているのかなと思う。子どもたちがどの程度LINEを利用しているとか、もう必需品になっているわけであろう。岡山市独自の視点で何か聞くのであったら、聞き方をいろいろ変えて、当然悪い影響もあり、いい影響もあるという結果が今までの例でわかっていると思うので、ち

指導課長	よっと中身を新展開してもいいかなという気がする。
教育長 石井委員	○ アセスのほうで、かなり質問紙の内容が絞られているところもあるので、それから経年的に見ていきたいものもあるので、どこまで変えられるかというのは、これからいろいろご意見いただきながらまた検討したいと思う。
指導課長 藤原委員	○ ほかにないか。 ○ 実施日については、例年この時期だったと記憶をしているが、この4月18日木曜日というのは、全国一律この日でやられているのか。
指導課長 藤原委員	○ 国のほうでもう決まっている。 ○ 英語関係で、今年は英語があるということで、パソコンルームへ行き、大規模校はローテーションです。これもうまく回りそうなのか。
指導課長 藤原委員 指導課長	○ はい。 ○ ハード面で、パソコンのこととヘッドホンも人数分あるのか。 ○ まず、1点目のパソコンルームをクラスごとにとということなのであるが、これは、そのことも含めて、パソコンの状況をこれまで何回か調査をして確認しているので、何とかいけると思う。イレギュラーなことがなければ、うまく進めるのではないかなと考えている。 それから、ヘッドセットのほうは、実施する数だけ送られてくる、これとUSBのほうをつないでするということになる。
藤原委員 指導課長	○ 文部科学省から送られてくるのか。 ○ はい。
藤原委員 指導課長	○ それは、貸してくれるだけか。 ○ 頂ける。いただいても使い道がどうなのか。
藤原委員 妹尾委員	○ 何か有効活用できたらよいが。 ○ 今回から知識と活用を一体的に問う調査問題に変わるということは、岡山市でやっているアセスへの影響もあるのか、余りないのか。
指導課長	○ こちらが問題をつくるときは、全国を参考にしてつくっている。A問題、B問題に分かれているのがこれまでであるが、これからが、一体かといったら、恐らくそうではなくて、大問1問の中に(1)、(2)、(3)とある中で、おおむねA問題に近いかB問題に近いかというようなものは国も示してくるだろうし、こちらもA問題つくるときにはこれを参考にしようということは問題を見ればある程度わかるので、アセスへの影響というのは、問題づくりについては大きくないと思う。むしろそれだけ問題が増えるので、参考にもなっていくと思う。
教育長 全委員 教育長	○ ほかにあるか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、岡山市としては参加するというで決定してよろしいか。 ○ 〈承認〉
全委員 教育長	○ はい。それでは、全国学力・学習状況調査は、英語が入ってきたり恐らくいろいろ変更があるので混乱がないように最後までしっかり手続し、それからご存じのように、この31年度と32年度のテストが、31年度の取り組みというのが最初の教育大綱の数値目標になってくるということもあるので、慎重にしないといけません、いい成績になるように頑張っていこう。よろしく願います。

傍聴の状況		
報 一	道 般	0名 0名

平成31年1月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成31年1月29日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	14時40分	
	閉 会	15時00分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	妹 尾 直 人	
	委 員	片 山 美 香	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	安 田 充 年	教育次長	三 宅 泰 司
次長（教育総務部長兼務）	吉 實 達 男	学校教育部長	岡 林 敏 隆
生涯学習部長	重 松 浩 二 郎	参事 （教育企画総務課長事務取扱）	村 田 守
就学課長	東 谷 徹	教職員課長	奥 橋 健 介
こども園推進課長	田 中 哲 也		
事務局 （教育企画総務課課長補佐）	生 田 裕 宣	事務局 （教育企画総務課副主査）	島 田 雅 紀
5 議題及び結果			
報告第1号	専決処理の報告（岡山市教育委員会事務局職員の人事について）		承 認
第2号議案	岡山市立学校教職員の人事について		原案可決
第3号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について		原案可決